



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	74,535	△18.7	1,067	△86.9	1,105	△87.5	875	△86.8
2019年3月期第2四半期	91,709	22.0	8,129	188.0	8,834	143.3	6,615	139.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,143百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 5,214百万円(△24.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	35.82	—
2019年3月期第2四半期	267.12	—

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	253,994	158,066	61.9
2019年3月期	269,521	160,946	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 157,247百万円 2019年3月期 160,114百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	60.00	—
2020年3月期	—	60.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、2019年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	167,000	△18.4	6,950	△66.4	7,350	△66.5	5,450	△67.9	222.96	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	24,893,841株	2019年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	449,911株	2019年3月期	449,837株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	24,443,958株	2019年3月期2Q	24,766,414株

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、連結売上高745億35百万円(前年同期比18.7%減)、営業利益10億67百万円、経常利益11億5百万円、純利益8億75百万円となりました。

上期の連結受注は811億43百万円(前年同期比28.8%減)となりました。高水準であった前年同期を大きく下回りました。前年度下期からの、受注の減少傾向が継続しました。

下期も厳しい状況が続くとみています。

第2四半期(2019年7月～9月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については9ページを参照ください)

#### セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は前年同期を大きく下回りました。ロボットと自動車の部品加工向けが減少したためです。半導体製造装置向けが増加したものの、減少を補うことはできませんでした。

下期も引き続き、厳しい水準が続くとみています。自動車や半導体製造装置向けの回復は来期以降に延びる見通しです。設備投資が低迷する中でも、特長を生かした提案を強化することで、案件の獲得に努めます。航空機向けは、新型機関連の引き合いがありますが、受注の決定は航空機メーカーの開発の進捗に大きく影響を受ける見通しです。

#### セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアは前年同期に比べ、すべての地域で大きく下回りました。

中国では、自動車の部品加工向けは、延期や中止となる引き合いが多かったことで、前年同期を大きく下回りました。米中貿易摩擦による影響が出ています。

自動車の金型向けは減少しました。パソコンや家電など電気電子部品の金型向けでは、当社のアジア製品の受注が底堅く推移しました。為替レートが中国元に対し円高となり、価格競争力が日本製に比べ相対的に上がったことによります。スマートフォン市場においては設備投資が進みましたが、当社の受注に結び付けることができませんでした。

下期は、自動車に対する政府の施策により、受注が上向くことを期待しています。

インドは、自動車向けを中心に引き合いの延期や中止があり、まとまった受注のあった前年同期を大きく下回りました。自動車向けの回復には時間がかかると見えています。下期は一般機械や航空機など、自動車以外に成長を見込める産業への営業活動に注力します。

アセアンでは、ベトナムは底堅く推移しましたが、タイなど他の地域が減少したことで、前年同期を下回りました。下期も引き続き、同様の状況が続くとみています。

#### セグメントⅢ(MAKINO INC.)

アメリカは前年同期を下回り、第1四半期並みの結果となりました。

自動車はピックアップトラックやSUV向けで受注が継続しました。

航空機向けは、一部機種の出荷停止による影響を、ビジネスジェットの構造部品向けや航空機のエンジン部品向けなどが補いました。

下期も同様の受注が継続する見通しです。

#### セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

ヨーロッパは前年同期を下回りました。見込んでいた引き合いの決定が第3四半期以降にずれ込みました。

自動車関連の顧客は、景気の先行きはもとより、ディーゼル車やEVの動向を注視しているため、投資を見合わせています。

航空機向けは、機体の増産が進む中でも、航空機メーカーがサプライヤに対する部品発注の再交渉をしたことによる遅れ等により、受注が減少しました。

下期は引き続き、ずれ込んでいる案件の獲得に努めます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ155億26百万円減少し、2,539億94百万円となりました。主な増減としては、受取手形及び売掛金192億2百万円の減少、棚卸資産29億28百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、仕入債務82億37百万円の減少、未払法人税等26億64百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ126億47百万円減少し、959億27百万円となりました。

また、純資産につきましては、為替換算調整勘定29億29百万円の減少、利益剰余金8億46百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ28億79百万円減少し、1,580億66百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回公表値（2019年7月31日公表）を修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,215	47,512
受取手形及び売掛金	53,402	34,199
有価証券	39	40
商品及び製品	17,916	23,359
仕掛品	13,192	14,465
原材料及び貯蔵品	32,317	28,530
その他	6,356	5,305
貸倒引当金	△775	△868
流動資産合計	171,665	152,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,246	31,271
機械装置及び運搬具（純額）	9,086	9,024
工具、器具及び備品（純額）	4,772	4,438
土地	17,427	17,644
リース資産（純額）	922	3,533
建設仮勘定	1,427	1,443
有形固定資産合計	65,882	67,356
無形固定資産		
その他	3,838	4,388
無形固定資産合計	3,838	4,388
投資その他の資産		
投資有価証券	20,828	21,983
長期貸付金	559	725
繰延税金資産	3,773	3,868
退職給付に係る資産	195	189
その他	3,132	3,280
貸倒引当金	△353	△342
投資その他の資産合計	28,135	29,705
固定資産合計	97,855	101,449
資産合計	269,521	253,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,784	11,824
電子記録債務	16,490	13,213
短期借入金	3,364	3,570
1年内返済予定の長期借入金	7,725	7,620
リース債務	216	509
未払法人税等	3,701	1,037
その他	26,027	21,713
流動負債合計	74,309	59,487
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	13,872	13,840
リース債務	856	2,752
繰延税金負債	4,155	4,471
役員退職慰労引当金	99	104
退職給付に係る負債	4,047	4,043
その他	1,234	1,228
固定負債合計	34,265	36,440
負債合計	108,574	95,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,070
利益剰余金	95,782	94,936
自己株式	△2,009	△2,010
株主資本合計	151,986	151,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,823	11,622
為替換算調整勘定	79	△2,849
退職給付に係る調整累計額	△2,774	△2,664
その他の包括利益累計額合計	8,128	6,108
非支配株主持分	831	819
純資産合計	160,946	158,066
負債純資産合計	269,521	253,994

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	91,709	74,535
売上原価	62,950	54,209
売上総利益	28,758	20,326
販売費及び一般管理費	20,628	19,258
営業利益	8,129	1,067
営業外収益		
受取利息及び配当金	447	504
受取賃貸料	131	126
為替差益	253	-
その他	198	206
営業外収益合計	1,030	837
営業外費用		
支払利息	155	174
為替差損	-	577
その他	169	47
営業外費用合計	325	799
経常利益	8,834	1,105
特別利益		
固定資産売却益	144	30
投資有価証券売却益	52	7
特別利益合計	196	38
特別損失		
固定資産除却損	21	29
特別損失合計	21	29
税金等調整前四半期純利益	9,009	1,114
法人税等	2,381	237
四半期純利益	6,628	876
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,615	875



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	6,628	876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,048	798
為替換算調整勘定	1,647	△2,929
退職給付に係る調整額	△11	110
その他の包括利益合計	△1,413	△2,020
四半期包括利益	5,214	△1,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,202	△1,144
非支配株主に係る四半期包括利益	12	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,009	1,114
減価償却費	2,751	3,135
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△93	107
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△466	112
受取利息及び受取配当金	△447	△504
支払利息	155	174
為替差損益(△は益)	△17	23
投資有価証券売却損益(△は益)	△52	△7
有形固定資産売却損益(△は益)	△144	△30
有形固定資産除却損	21	29
売上債権の増減額(△は増加)	8,656	16,208
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,129	△4,301
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,335	△6,842
その他	1,267	△1,058
小計	10,180	8,165
利息及び配当金の受取額	444	499
利息の支払額	△150	△174
法人税等の支払額	△2,532	△3,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,942	5,389
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,560	△3,835
有形固定資産の売却による収入	346	117
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	86	14
その他	△719	△542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,850	△4,250
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,290	309
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△160	△296
長期借入金の返済による支出	△5,157	△40
社債の発行による収入	5,000	-
自己株式の取得による支出	△1,000	△0
配当金の支払額	△1,119	△1,463
非支配株主への配当金の支払額	△2	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,850	△1,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	271	△1,336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,213	△1,701
現金及び現金同等物の期首残高	49,785	48,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,998	47,125

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)

一部の在外連結子会社において「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を第1四半期連結会計期間より適用しております。ASC第606号の適用については、ASC第606号の経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

「リース」(IFRS第16号)

一部の在外連結子会社においては、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、第1四半期連結会計期間の期首時点で、有形固定資産が2,309百万円、流動負債が312百万円、固定負債が2,017百万円、それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	28,274	30,222	24,918	8,293	91,709
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,635	4,954	186	8	39,784
計	62,909	35,177	25,105	8,301	131,493
セグメント利益 又は損失(△)	6,058	3,114	548	△541	9,179

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	9,179
未実現利益の消去他	△1,049
四半期連結損益計算書の営業利益	8,129

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	22,645	23,852	23,018	5,019	74,535
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,067	3,682	165	37	30,953
計	49,713	27,535	23,183	5,057	105,489
セグメント利益 又は損失(△)	77	1,975	478	△1,077	1,453

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,453
未実現利益の消去他	△385
四半期連結損益計算書の営業利益	1,067

## 3. その他

## 受注及び販売の状況

## 1. 受注の状況

## 受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	24,324	30.0	△27.4
II	24,513	30.2	△33.6
III	26,746	33.0	△20.8
IV	5,558	6.8	△42.9
合計	81,143	100.0	△28.8

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

## 受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間末 2019年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	26,724	38.5	△16.3
II	12,852	18.5	△26.9
III	17,860	25.7	△29.5
IV	12,018	17.3	△7.1
合計	69,456	100.0	△20.9

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

## 2. 販売の状況

## 販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	22,645	30.4	△19.9
II	23,852	32.0	△21.1
III	23,018	30.9	△7.6
IV	5,019	6.7	△39.5
合計	74,535	100.0	△18.7

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。